

## 公益財団法人静岡県国際交流協会 平成 29 年度事業報告

- 平成 29 年度は、引き続き外部財源（県等の委託・補助事業）の確保、事務費の縮減及び事業費の精査に努め、結果として決算額（経常費用計）は 5,076 万円余（前年度 4,655 万円余）、経常収支は 281 万円余の赤字（前年度 40 万円余の赤字）となり赤字決算となった。
- 事業実績では、「アース(明日)カレッジ 2017」の開催や多文化共生意識の普及事業などを通じた国際理解・交流の推進、さらに医療通訳や就労支援など外国人住民を対象とした相談事業の高度化、多文化共生ネットワークの充実・強化、基金を活用した子どもの日本語支援や外国人児童生徒支援に携わる人材育成、外国人技能実習生の日本語習得支援など多文化共生の推進に取り組んだ。資産運用では、東京電力債（帳簿価格 3 億円）の平成 30 年 3 月末評価指数は 114.41（前年同期 111.26）となった。
- また、事業実施に当たっては、年間を通じ効率的な事業執行や事業効果の最大化を図り、公益法人会計を知悉する会計事務所の指導及び指示に基づき的確な会計処理に努めた。

### 1 国際理解・交流推進事業

#### 【 県民・団体への働きかけ、連携強化 】

##### (1) 情報収集提供事業

- ア 情報誌(SIR Joy Press) 4,000 部を年 11 回発行した。
- イ ホームページ「SIR 静岡県国際交流協会」の保守及び 5 言語（日本語・やさしい日本語・英語・スペイン語・ポルトガル語）による情報提供を行った。
  - ・平均ユーザー数 4,187 ユーザー/月
  - ・平均ページビュー数 19,071 件/月

##### (2) 国際理解教育事業

国際理解・交流推進に取り組む県内外団体が連携・協働を強化するとともに、県民への情報発信力を高めるため、地域課題に取り組む諸団体・実践者と連携して「アース(明日)カレッジ 2017」を開催した。

「アース(明日)カレッジ 2017」

- ・開催時期 平成 29 年 7 月 15 日(土)、16 日(日)
- ・会場 静岡市葵生涯学習センター アイセル 21 (静岡市)
- ・参加者 約 1,600 名(延人数)

##### (3) 外国語ボランティアバンク設置事業（県委託事業）

県の国際的イベント開催時の言語支援や災害時の外国人住民への円滑な支援体制の構築等を図るため、県が養成した外国語ボランティアや語学が堪能な県民のボランティア登録を行うとともに、情報提供及び資質向上研修を実施した。

ア 登録者数 1,269 名 32 言語（平成 30 年 3 月 31 日）

イ 研修会の開催（東部・中部・西部）

「クイズと工作で楽しく防災！」

- ・開催時期 平成 30 年 3 月 17 日(土)
- ・会場 沼津労政会館（沼津市）
- ・参加者 16 名

「イスラム教を知ろう！」

- ・開催時期 平成 29 年 12 月 16 日（土）
- ・会 場 静岡県観光・国際交流センター（静岡市）
- ・参加者 22 名

「英語で学ぼう！～ニュージーランド・オーストラリアからラグビーまで～」

- ・開催時期 平成 29 年 7 月 23 日（日）
- ・会 場 袋井市役所東分庁舎「コスモス館」（袋井市）
- ・参加者 51 名

ウ ボランティアバンク通信を年 6 回発行

エ 語学ボランティア自主研修へ助成（4 グループ）した。

#### （4）日本国際連合協会関連事業

国際連合の機能・活動に対する理解を深め、国際活動の基本的能力である語学力の向上を図る機会を一般県民に広く提供した。

ア 国連高校生スピーチコンテスト

- ・国際理解・協力の理解を深める高校生スピーチコンテスト（3 名）を実施した。
- ・国連英語検定（5 月：19 名、10 月：12 名）を実施した。

イ 国連外国語講座開催（英語・韓国語、年 3 回開催 各 10 回、静岡市・沼津市）

- ・外国語講座（受講人数計 549 名）を開催した。

### 【 海外との関係強化・維持 】

#### （5）留学生支援事業

ア ふじのくに留学生親善大使設置事業（県委託事業）

県内大学で学ぶ外国人留学生 20 名に「ふじのくに留学生親善大使」を委嘱した。委嘱後は、地域の国際交流事業に参加したり、学校や地域行事で母国文化を紹介する講師を務めた。

- ・委嘱人数 20 名（中国 7 名、ベトナム 6 名、ミャンマー 3 名、スリランカ 2 名、インドネシア 1 名、マレーシア 1 名）

- ・参加事業件数 252 件

- ・事業参加親善大使 409 名

イ 留学生就職支援事業（公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム委託事業）

県内大学に在学し、静岡県内企業への就職を希望する留学生に対し、ビジネス日本語やビジネス文化を学ぶ研修会及び企業視察や経営者・人事担当者との交流会を実施した。

- ・開催時期 平成 29 年 7 月～平成 30 年 2 月
- ・会 場 （公財）静岡県国際交流協会 共用会議室（静岡市）  
（公財）浜松国際交流協会 会議室（浜松市）
- ・企業視察 鈴与株式会社（静岡市）、株式会社中島屋ホテルズ（静岡市）  
株式会社ホテイフーズ（富士市）、株式会社小林製作所（富士市）
- ・参加者 留学生 101 名

ウ 留学生地域交流会開催事業（公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム委託事業）

静岡県の自然や文化に対する留学生の理解を深め、留学生と日本人学生の交流促進を目的とした「静岡県・国際交流バスツアー」を開催した。

- ・開催時期 平成 29 年 10 月 15 日（日）
- ・訪問場所 蔵屋鳴沢（伊豆の国市）、伊豆の国パノラマパーク、修善寺温泉
- ・参加者 82 名（県内留学生 55 名、日本人大学生 27 名）

#### (6) 海外国際交流団体連携事業

国際相互理解を促進するため、市民交流希望案件を情報誌やホームページ等を通じ、県民や県内の青少年団体や女性団体、自治体等に情報提供、提案した。

#### (7) 海外移住者援護事業（県補助事業、県委託事業）

##### ア 海外移住者援護事業（県補助事業）

協会ホームページ内「オレンジネット」及び情報誌にブラジル、アルゼンチン、ペルーの各県人会から提供された情報を掲載し、海外静岡県人会への助成や高齢者表彰を行った。

##### ・在外県人会への助成

ブラジル 700 千円、アルゼンチン・ペルー 200 千円、サンパウロ日伯援護協会  
アマゾニア日伯援護協会 80 千円

##### ・在外県人高齢者表彰

ブラジル 5 名、アルゼンチン 4 名、ペルー 12 名、パラグアイ 2 名、  
アメリカ 5 名

##### ・優良海外移住者知事表彰

ブラジル 5 名、アメリカ 1 名

##### イ 静岡県海外技術研修員受入事務事業（県委託事業）

南米県人会から推薦を受けた海外技術研修員の生活支援事務及び研修実施に関わる調整を行った。

- ・開催時期 平成 29 年 1 月 16 日（火）～2 月 6 日（火）
- ・研修員名 マサヤ フカサワ（ペルー）
- ・研修場所 株式会社 なすび（静岡市）

## 2 多文化共生推進事業

### 【外国籍住民支援】

#### (1) 外国籍住民支援アドバイザー設置

外国人住民が抱える複雑化した課題等に対応するため、ポルトガル語及びスペイン語の能力を持つ相談員を配置して相談窓口を開設するとともに、県内で開催される研修会等に出向き各地域の相談対応を支援した。

- ・相談件数 350 件
- ・国別人数 ブラジル 141 件、日本 110 件、ペルー83 件、その他 16 件
- ・相談内容 医療関係 121 件、生活 111 件、福祉関係 48 件、教育 28 件、他 42 件

#### (2) 外国籍住民相談窓口高度化事業（自治体国際化協会助成事業）

外国人女性の課題解決に向け「育児」「介護」をテーマとした研修会を開催して、支援制度や制度利用に関する情報を提供した。

外国人の医療については、従来の協会事業を県の委託事業として、医療従事者を対象とした医療通訳セミナーや通訳者の資質向上のために医療通訳専門研修を実施するとともに、医療通訳者が必要な病院に対して医療通訳者を紹介した。

また、外国人患者の利用が多い病院と協働して、「入院生活」「出産」をテーマとした患者向けの映像資料を 6 言語で作成した。

さらに、外国人住民の不安定な雇用状況を改善するため、外国人求職者と企業のマッチング事業に取り組んだ。

#### ア 外国人女性のための生活（育児・介護）セミナー（自治体国際化協会助成事業）

##### 「育 児」

- ・開催時期 平成 30 年 7 月～11 月 全 6 回
- ・会 場 三島市、沼津市、清水町、菊川市
- ・内 容 幼児期の教育、小学校入学前の準備
- ・参加者 96 人（うち親子 30 組）

##### 「介 護」

- ・開催時期 平成 29 年 11 月 26 日、30 年 1 月 21 日 2 回
- ・会 場 静岡市、
- ・内 容 介護制度説明、介護老人保健施設視察
- ・参加者 22 名

#### イ 外国人の医療通訳制度利用のための支援

##### 「医療講演会」

- ・開催時期 平成 30 年 1 月～30 年 3 月 全 3 回
- ・会 場 磐田市立総合病院、静岡済生会総合病院（静岡市）、沼津市立病院
- ・参加者 105 名（病院関係者、医療通訳者等）
- ・内 容 「外国人が日本の病院にかかるときに困ること・戸惑うこと」「外国人が安心して医療を受けられるために」をテーマに協議した。

##### 「医療通訳専門研修会」（県委託事業）

- ・開催時期 平成 29 年 10 月 15 日（日）、29 日（日）、11 月 12 日（日）
- ・会 場 静岡県庁会議室（静岡市）
- ・参加者 81 名（ポルトガル語 21 名・スペイン語 19 名・中国語 21 名、タガログ語 20 名）

- ・内 容 医療通訳の専門知識、手法等をロールプレイ等を交えて学んだ。  
「医療通訳者紹介」（一部県委託事業）
- ・派遣者 164 名（6 言語）
- ・派遣病院 9 病院（静岡済生会総合病院 等）  
「外国人患者のための映像マニュアル作成」（自治体国際化協会助成事業）
- ・6 言語による映像作成。DVD 作成・160 病院に配布、HP 掲載
- ・協働機関～静岡済生会総合病院（静岡市）、磐田市立総合病院（磐田市）
- ウ 静岡型定住外国人就業・定着システム構築事業（県委託事業）  
外国人求職者の実態調査及び企業と外国人労働者の聴き取りとマッチングを行った。  
また、外国人労働者の就労定着を図るため、アドバイザーを派遣し、就労状況の確認や企業との意見交換、外国人労働者向けの書類作成や翻訳支援を行った。
- ・開催時期 平成 29 年 6 月～平成 30 年 3 月
- ・外国人求職者実態調査 49 名
- ・マッチング数 採用面接 19 名、採用決定 9 名（ブラジル 9 名）
- ・マッチング企業 5 社（運送、倉庫、自動車教習、鋳造等）
- ・アドバイザー派遣 29 回

### (3) 日本語指導ボランティア研修会開催事業

外国人住民への日本語指導を行うボランティアの資質向上及び地域日本語教育の推進を目的として県内ボランティア等が参加する「静岡県・日本語ボランティアセミナー 2018」を開催した。

#### ア 「静岡県・日本語ボランティアセミナー2018」

- ・開催時期 平成 30 年 1 月 8 日（祝・月）
- ・会 場 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」（静岡市）
- ・参加者 256 名

#### イ 日本語サポーター

- ・登録者数 455 名（平成 30 年 3 月 31 日現在）

### (4) 外国人学校児童生徒日本語支援事業

外国人学校に通う児童生徒に対し、日本社会で自立して生活できるよう日本語の習得支援として、日本語指導を介した防災教育等実施の支援を行った。

## 【地域連携・協働事業】

### (5) 多文化共生団体ネットワーク構築

外国人住民の抱える生活課題を解決するために、県内市町・市町国際交流協会・関係機関等との連携体制の構築や社会保障・社会福祉・医療制度等について学ぶ研修会や関係者が問題事例を議論する事例検討会を開催した。

#### ア 多文化ソーシャルワーカー育成研修（自治体国際化協会助成事業）

- ・開催時期 平成 29 年 6 月 23 日（金）、7 月 12 日（水）、11 月 16 日（木）
- ・会 場 静岡県庁、沼津市立図書館、菊川文庫（菊川市）
- ・参加者 94 名（弁護士、女性相談員、通訳、社会福祉協議会、外国人支援者等）
- ・内 容 外国人住民の在留資格や在留資格に伴う社会福祉・医療制度の適用の可否など支援者に必要な知識を学んだ。また、外国人住民からの相談

への対応や解決方法に関して意見交換・協議を行った。

イ 多文化共生ネットワーク構築のための情報交換会及び事例検討会

(自治体国際化協会助成事業)

- ・開催時期 平成 29 年 10 月～30 年 2 月 (全 8 回)
- ・会 場 沼津市役所、静岡市国際交流協会、浜松市多文化共生センター
- ・参加者 67 名 (弁護士、通訳、社会福祉協議会、外国人支援関係者等)

(6) 外国人児童支援事業

- ・外国人の子ども育成支援事業 (県委託事業)

外国人の子どもの日本語習得を支援できる人材を養成するため、日本語指導に関する研修会を開催し、研修会修了者を市町に紹介した。また、研修会修了生である外国人の子ども支援員、教員、日本語支援コーディネーターの 3 者が連携して授業を進める「モデル支援教室」を県内 3 か所で実施した。県出捐金により設置した「子どものための日本語学習支援基金」を活用し、子どもの日本語習得支援を目的とする助成事業を実施した。

「支援員養成研修 (学習につながる日本語指導を考える講座、日本語を話せる外国人向け講座)

- ・開催時期 平成 29 年 7 月～8 月 (全 11 回)
- ・会 場 沼津市、焼津市、掛川市
- ・修了者数 127 名 (うち外国人 29 名)

「モデル支援教室」

- ・実施時期 平成 29 年 9 月～平成 30 年
- ・実施場所 清水町、沼津市、掛川市の小中学校 (各校約 20 回の授業実施)
- 「子どものための日本語学習支援基金」
- ・日本語能力試験受験料助成事業 給付者 33 名

(7) 外国人技能実習生等日本語支援事業

地域の日本語指導ボランティア、企業、技能実習生等の三者を結びつけ、企業内で実習生等を対象とした日本語習得指導を行うことで、地域の企業活動、住民と実習生等の相互交流、相互理解を促進した。

- ・開催時期 平成 29 年 4 月～3 月
- ・実施企業 ① (株) パイオラックス (富士市) ② (株) テクノサイト (島田市)  
③ 町田食品 (富士市)
- ・参加者 15 名 (インドネシア、ベトナム)